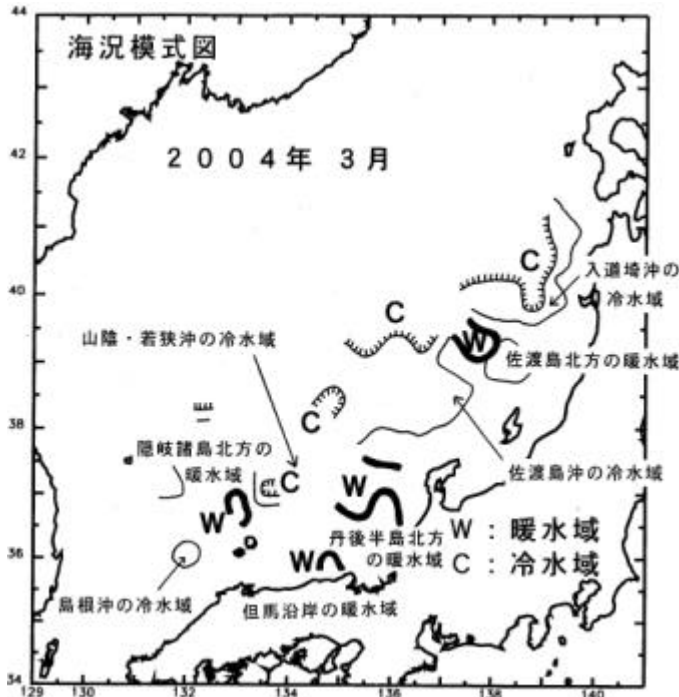


平成 15 年度第 3 回日本海海況予報

- 別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合センター
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 -

今後の見通し(2004年4月~6月)

対馬暖流域の表面水温は, "平年並み" ($\pm 0.5^{\circ}\text{C}$ 程度) で経過する
対馬暖流域の 50m 深水温は, 西部では"やや高め" (1°C 程度),
北部では, "平年並み" ($\pm 0.5^{\circ}\text{C}$ 程度) で経過する



2004年4月~6月の海況

丹後半島北方の暖水域は、北東に移動

但馬沿岸の暖水域は東に移動した後、丹後半島北方の暖水域に取り込まれる

隠岐諸島北方の暖水域は、東に移動
佐渡島北方の暖水域は、北東に移動

島根沖の冷水域の張り出しは、やや弱い

山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、弱い

佐渡島沖及び入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並み

1. 本予報は水産庁のホームページ (<http://www.jfa.maff.go.jp/>), 水産総合研究センターにおける我が国周辺水域資源調査等推進対策委託事業のホームページ (<http://abchan.job.affrc.go.jp/>) に掲載されます。
2. 本予報と関係した海況のより詳細な情報につきましては、日本海区水産研究所のホームページ (<http://www.jsnf.affrc.go.jp>) をご覧下さい。
3. 本予報の内容等に関する問い合わせ先は、以下の通りです。
水産庁増殖推進部漁場資源課沿岸資源班 担当：竹葉，狭間
住所：〒100-8907 東京都千代田区霞ヶ関 1-2-1
電話：03-3502-8111 (内線 7376) 03-3501-5098 (直通)
ファックス：03-3592-0759
電子メール：toru_hazama@nm.maff.go.jp
水産総合研究センター 日本海区水産研究所 企画連絡室
住所：〒951-8121 新潟市水道町 1 丁目 5939-22
電話：025-228-0451(0616) ファックス：025-224-0950
電子メール：fra-jki@ml.affrc.go.jp

参加機関

北海道立中央水産試験場	京都府立海洋センター
青森県水産総合研究センター	兵庫県但馬水産技術センター
秋田県水産振興センター	鳥取県水産試験場
山形県水産試験場	島根県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	山口県水産研究センター
富山県水産試験場	(社)漁業情報サービスセンター
石川県水産総合センター	水産庁増殖推進部漁場資源課
福井県水産試験場	日本海区水産研究所

平成15年度第3回日本海海況予報

1. 今後の見通し(2004年4月～6月)

- (1) 丹後半島北方の暖水域は、北東に移動する。但馬沿岸の暖水域は東に移動した後、丹後半島北方の暖水域に取り込まれる。隠岐諸島北方の暖水域は、東に移動する。佐渡島北方の暖水域は、北東に移動する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、弱い。佐渡島沖及び入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、"平年並み"で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部で"やや高め"、北部で"平年並み"に経過する。

2. 経過(2003年11月～2004年2月)

- (1) 11月に隠岐諸島北東でみられた暖水域は、2月には丹後半島北方に移動。
11月に隠岐諸島北西でみられた暖水域は、東～南に移動。
11月に能登半島北方でみられた暖水域は南に移動した後消滅。
11月に大和堆西方でみられた暖水域及び12月に能登半島北方で発生した暖水域は、消滅。
- (2) 島根沖の冷水域は、小さくて接岸状況は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、大きくて接岸。佐渡島沖及び入道埼沖の冷水域は、規模及び接岸状況とも平年並み(11月)。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
11月：山陰西部で"かなり高め"～"はなはだ高め"となるが、それ以外はほぼ"平年並み"で、能登半島北西では"かなり低め"の海域が分布。
12月："やや高め"～"かなり高め"の海域が広く分布。
2月：隠岐諸島周辺及び北海道西方では"やや高め"～"かなり高め"であるが、それ以外は"平年並み"～"やや低め"となり、能登半島北西及び入道埼西方では"かなり低め"の海域が分布。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも"やや高め"(10～12月平均)。

3. 現況(2004年3月)

- (1) 暖水域は、丹後半島北方、隠岐諸島北方、但馬沿岸及び佐渡島北方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、小さくて接岸状況は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、小さくて離岸。佐渡島沖及び入道埼沖の冷水域は、規模及び接岸状況とも平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、概ね"平年並み"であるが、島根沖、能登半島北西及び佐渡島北方で"やや低め"～"かなり低め"の海域が分布。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では"かなり高め"、北部では"やや高め"(1～3月平均)。

(註) 引用符(" ")で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

"はなはだ高め"：約20年以上に1回の出現確率である2 程度の高さ

"かなり高め"：約10年に1回の出現確率である1.5 程度の高さ

"やや高め"：約4年に1回の出現確率である1 程度の高さ

"平年並み"：約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5 程度の水温

"やや低め"：約4年に1回の出現確率である1 程度の低さ

"かなり低め"：約10年に1回の出現確率である1.5 程度の低さ

"はなはだ低め"：約20年以上に1回の出現確率である2 程度の低さ